

1) ー7 ラクイラ震災被害における文化遺産建築の修復・補強と保護に関する調査・研究

(研究期間 平成 22～25 年度)

[担当者] 濱崎仁

本研究課題は、2009 年 4 月に発生したラクイラ地震により被害を受けた文化遺産建築の保存・修復方法を検討するための劣化度調査、モニタリング調査の方法、データの分析等に関する検討、およびその他のイタリア国内の歴史的建造物の保存・修復に関する調査を行うことを目的としている。

平成 25 年度は、これまでに設置したモニタリングデータの吸い上げと今後の継続的な調査のために、ラクイラ市内の 3 つの構造物 (S't Agostino 教会堂、San Silvestro 教会堂およびラクイラ市庁舎鐘楼 (Torre Civica))、ベネツィア・ブラーノ島の San't Martino 教会堂に設置したデータの吸い上げとセンサの修復、再設置等を行った。地震後の応急的な補強方法については、ラクイラ市内の構造物の調査を行い、補強方法の分類や効果等についての検討を行った。また、レンガの塩類劣化のメカニズムを調査するため、塩類劣化を生じたレンガ試料の採取と表面に析出した成分の分析等を行った。